

第 40 集論文原稿募集

現在、第 39 集の原稿を締め切り、第 40 集の原稿募集を開始しています。会員の皆様はふるってご投稿ください。また、当研究会に未加入の方でも入会と同時に投稿が可能ですので、お知り合いの方などにご紹介いただければ幸いです。『試論』は学術誌として厳正な審査制度を採用しておりますので、掲載された論文は研究業績としてそれなりの重みを持っています。投稿規定は下記の通りとなっています。

投 稿 規 定

原稿締切 2 月 31 日。

原稿はタイプ、ワープロなどによる清書原稿 6 部を提出すること。ワープロにより作成した場合は、そのファイルもフロッピーで提出すること。可能な場合には、「標準テキストファイル」を含めること。

手書き原稿は原則として受け付けない。ただし、執筆者がその費用を負担する場合は事務局がワープロ入力を代行する。

論文は和文、欧文いずれでもよい。

和文の場合は原則として 400 字詰原稿用紙 35 枚程度（注を含めて）。

欧文の場合は原則として 6,000 語程度。採用の場合、ネイティブ・スピーカーの校閲は編集委員会が行う。

論文には英文のシノプシス（300 ~ 400 語程度）を添付すること。特殊活字、図表などの使用や原稿量が多いことにより標準的な印刷費用を大きく超過する場合は、超過分のみを執筆者負担とする場合がある。

注は末尾にまとめ、通し番号をつけること。

論文の書式の細部については、原則として *MLA Handbook*（邦訳『M L A 英語論文の手引』第 4 版 北星堂発行）または *The Chicago Manual of Style*, 14th Edition に従うこと。

SHIRON Newsletter 試 論

発行 「試論」英文学研究会
〒980-8576 仙台市青葉区川内
東北大学大学院文学研究科 英文学研究室
Tel & Fax 022-217-5961
E-mail : Deleted to prevent spam

No. 3

May 2000

『試論』製本が完成

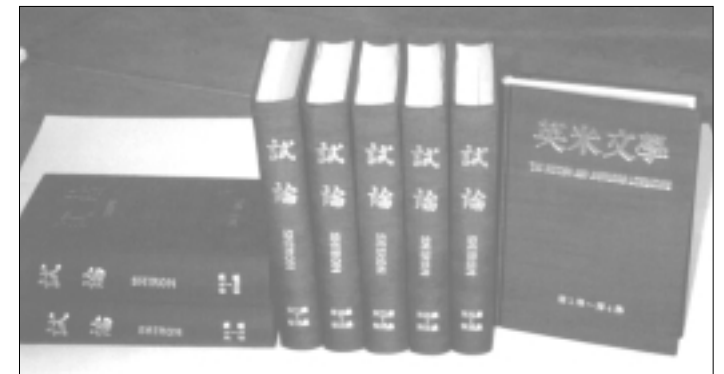
『試論』の製本作業が終わり、11 月末に納品されました。3 セットを作成して、事務局に永久保存することになりました。製本は 5 集分を 1 冊にする形で行いましたので、第 1 集から 35 集まで、全 7 巻となっています。40 集刊行の時点で次の製本を行います。『試論』の変遷前誌である『英米文學』も併せて製本しました（全 1 巻）（なお、今回の製本にあたりましては、過去に編集委員会により削除されたことが明記されている論文については含まれておりません。）大変きれいに仕上がりましたので、お近くの会員の皆様は是非一度ご覧下さい。

また、別冊が刊行されていた時期がありました。一部の用紙が粗悪であること、いつからいつまで刊行されたのか未確認であること、内容が製本・保存すべき

ものであるかについて疑問があること、などの理由で今回は見送りました。これについて会員の皆様のご意見をお寄せいただければ幸いです。なお、本会会員で今春東北大学を停年ご退官になられました沓岐泰彦先生からお手持ちの別冊をご提供いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

戦前の『試論』について

今回調べましたところ、戦前の『試論』については、4 冊刊行されておりますが、英文学研究室に保存されているものでは第 2 号が欠号となっていることが分かりました。会員の皆様でもしお持ちになっている方がおられましたら、拝借いたしたく存じます。コピーして製本する予定です。



1999 年決算報告

第 38 集の発送費用、バックナンバーの製本費用などを含めた最終の決算を以下にご報告いたします。なお、前回の概算報告に一部誤りがありましたので、同時に訂正させていただきます。この Newsletter 3 の印刷・発送費は次年度処理といたします。

	単価	数量	金額
前年度繰越金			1,577,120
前回決算報告以降の会費納入分			417,000
会則改正返信用葉書	50	75	3,750
Newsletter 1 印刷費	20	80	1,600
Newsletter 1 発送費	80	75	6,080
編集委員旅費(1名)			3,000
英文校訂謝礼			20,000
第 38 集版下出力費用			56,543
第 38 集印刷費			200,000
Newsletter 2 印刷費	20	80	1,600
Newsletter 2 発送費	80	70	5,600
第 38 集 発送費	210	182	38,220
郵送費(校正刷り、版下等)			2,000
『試論』バックナンバー製本			103,950
次年度繰越金			1,551,777

「試論」英文学研究会 会長 原 英一

試論 Newsletter 原稿募集

本ニューズレターは会員相互の会員相互のコミュニケーションを促進する場といたしたいと思えます。住所、勤務先の変更などの異動も掲載する予定です。つきましては、エッセイ、『試論』掲載論文の批評、学術書等の書評等々、どのようなものでもかまいませんので、原稿をお寄せ下さい。長さは自由です。また、写真も掲載可能です。

原稿は随時受け付けますので、編集委員会宛お送り下さい。また、電子メールでの投稿も可能です。下記までお送り下さい

E-mail : Deleted to prevent spam

累積黒字の処理方法について

『試論』の製本で一部使用しましたが、累積黒字はほとんど減りませんでした。黒字である以上、将来に備えてそのままにしておくというのが本来の処理であるかもしれませんが、ただ、今回のバックナンバー製本のような有意義な使途があれば、それに支出すべきとも思います。可能性としてはいくつか考えられます。一つは会費を値下げすること。現在の会員数と会費が維持されれば(また会費納入が順調であれば)毎年黒字は増えてまいります。収支が均衡する程度に会費を値下げして会員の負担を減らすというのも考慮すべきでしょう。また、一律の値下げではなく、学生や常勤の勤務先を持たない会員は半額にするなどの方法も考えられます。その他、来年の『試論』は第 40 集になりますが、十年ごとに記念論文集を出版するなどということも考えられます。(ページ数にもよりますが、DTP によってかなり安価に作ることができます。)

最終的には会則の改正を必要としますので、編集委員会で検討の上、お諮りすることになりますが、会員の皆様の忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

第 39 集の編集状況

これまでに 4 編の論文が集まり、編集委員会にて審査中です。今年も七月前半には刊行の運びとなる予定です。

『試論』ホームページ

昨年、東北大学の英文学研究室に独自サーバ(ホスト名 charles)が導

入され稼働しています。『試論』のホームページもこの中に開設しました。URL は下記の通りです。現在は構築途上ですが、皆様のご意見を取り入れながら充実した内容に育てていきたいと考えております。とりあえず第 38 号の PDF 版などを掲載してあります。会員名簿についても、会員のみ限定して、パスワードによってアクセスできるようにする予定です。詳細は電子メールにてご照会ください。

『試論』ホームページ URL

<http://charles.sal.tohokou.ac.jp/shiron.html/>

English Verse Drama

上記サーバは英文学研究室で購入した English Verse Drama データベース(EVD)の閲覧のために設置されたものです。このデータベースには中世から 20 世紀初頭までの「すべての」韻文ドラマが電子化された完全テキストデータで収録されています。ライセンス契約上、英文学研究室の LAN 内でのみ利用可能ですが、英国演劇研究者にとっては大変貴重な資料ですので、こちらにおいての際は是非ご利用ください。また、charles には他に DNB, *Encyclopedia Britannica* などの CD-ROM 版も入っています。

事務局の宛先名の一部変更

大学院重点化の完成によって、平成 12 年 4 月より東北大学文学部が東北大学大学院文学研究科となりました。これに伴い、本研究会事務局のある英文学研究室の正式な宛先も表記の通り変更となりました。